

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	株式会社UACJ押出加工名古屋
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	愛知県名古屋市港区千年3丁目1番12号
工場等の名称	株式会社UACJ押出加工名古屋 名古屋製作所
工場等の所在地	愛知県名古屋市港区千年3丁目1番12号
業 種	製造業
業務部門における 建築物の主たる用途	工場
建築物の所有形態	賃貸ビル等(賃貸している建築物)
事業の概要	アルミ及びアルミ合金板・押出製品の製造に係わる事業活動
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公 表 期 間	令和4年7月28日 ～ 令和7年3月31日		
公 表 方 法	○	揭示 閲覧	(場 所) UACJ名古屋製造所本館事務所1階受付
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊 子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	名古屋製作所 設備技術課 TEL. 052-654-1123		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

1. 地球温暖化対策の推進テーマとして次の6項目を取り上げます。
- (1) 省エネ活動によるエネルギー（電気、ガス、灯油等）の使用量の低減
 - (2) 燃料転換による地球温室効果ガス排出量削減
 - (3) 歩留・生産性UPによるエネルギー（電気、ガス、灯油等）の使用量の低減
 - (4) 資源（原料、副資材）の使用量削減、及び再生利用の促進
 - (5) リサイクル材を活用した環境に貢献できる製品の開発、及び提供
 - (6) 再生エネルギー設備（太陽光発電等）の導入

(2) 地球温暖化対策の推進体制

最高経営者（名古屋製作所 所長）

環境管理責任者（名古屋製作所 主幹）

製造部環境保全責任者（製造部長）

環境保全推進者（製造部 室・課長）

環境保全推進者（室・課長）

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		18,634	t-CO ₂
①を （二室除く 炭酸効 果ガ ス排 出 量 換 算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	18,634	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	原単位排出量
------------------	--------

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 6 年度 目標削減率	
温 室 効 果 ガ ス 総 排 出 量		t-CO ₂		t-CO ₂		%

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度 目標排出量		令和 6 年度 目標削減率	
原 単 位 あ た り の 排 出 量	0.813	t-CO ₂ / ton	0.7886	t-CO ₂ / ton	3.0	%

（2）目標設定の考え方

近年は生産量の減少や品種構成の変化により生産性が悪化し、二酸化炭素排出原単位も悪化する要因となっています。一方でさらに設備省エネ改善や製造歩留向上活動を推進することで抑制を図る目標としています。

- 備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

U

指針第1号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）
2002	排熱回収	塗装ライン乾燥炉排気の排熱回収
2006	排熱回収	熱処理炉排気の排熱回収
2010	排熱回収	塗装ライン乾燥炉排気の排熱回収

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

製造工程における廃棄物の削減 敷地内の緑化推進と保全活動の実施 社員、従業員等への環境教育を定期的に実施
--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

不要な照明・空調機の停止徹底への呼び掛け
